

令和2年度 あきたスマートカレッジ C講座報告

C ユース講座 高校生対象「思考力向上キャンプ」(定員50名)1泊2日		無料講座		
会場：秋田県青少年交流センター（ユースパル）				
日 時	テーマ	講師		
C1 + C2	5/15 (金) + 5/16 (土)	1日目) 16:20～ 2日目) ～14:00	グラフィック・レコーディング ～話し合いを見える化～ イノベーション教育を学ぶ ～未来をつくるアイデアを出すための思考法～	秋田グラフィック・レコーダーズ 共同代表 平元 美沙緒 氏 一般社団法人 iclub 代表理事 小川 悠 氏

この講座は充実した生徒会活動を推進する手法の一つとして、県内高校の生徒会役員が、課題解決のための思考法を学ぶ講座です。青少年交流センター（ユースパル）主催の「高校生徒会ネットワーク会議」の一部として開催し、2日間の日程で生徒20名が参加しました。

C1 9月11日(金)「グラフィック・レコーディング～話し合いを見える化!～」

グラフィック・レコーディング（以下グラレコ）は話し合いで出された言葉を、文字や記号、イラストなどで図示して記録し、可視化する手法です。平元美沙緒氏に加え、公立美術大学の学生からも指導いただきました。前半は、グラレコにはどんな利点があるのか、理論や基礎技能を教えていただいた後に、グルーピング型グラレコの手法を学びました。平元氏のスピーチを聞き取り、話題ごとにまとまりを作って記録していきます。作ったものはグループ内で見せ合い、良いところを付箋にかき、さらにそれを壁に掲示し全員で見せ合いました。後半は、メインとなる生徒会活動についての話し合いです。グラレコの手法を使い、グループ内で自分の学校の「良いところ」と「課題」について話し合いました。各グループで作上げたグラレコを全員に見せながら発表したところ、生徒は互いの学校の状況をよく知ることができたと振り返っていました。グラレコを使った話し合いは理解度が高くなることがアンケートでも示されていました。



C2 9月12日(土)「イノベーション教育を学ぶ～未来をつくるアイデアを出すための思考法～」



2日目は、東京にいる小川悠氏と「Zoom」でつながり、双方向型のオンライン講座を行いました。小川氏の話をお秋田グラフィック・レコーダーズの佐藤まどか氏がグラレコして可視化します。生徒はそれを見ながら小川氏の話の話を聞きました。まずはテキストを用いてイノベーション教育の理論から教わりました。「イノベーション教育のねらいは、学校や地域の今ある価値を見直してよりよい学校・地域の未来をつくること」という説明に生徒は納得。各種シートを使いながら、気づいた新しい価値観を言語化していき、「アイデアがない世界と、ある世界における変化の場面をスキット（寸劇）で表現する」活動に臨みました。まず、学校の未来をつくるアイデアの種を、個人で考えてから各グループで出し合います。その後、別室の図書館へ行って、考えたアイデアの種を小川氏に話しヒントをもらいます。再度グループで話し合うことを繰り返すことにより、アイデアが整理され深まっていました。スキットのプレゼンテーションは図書館で行われ、その様子は小川氏と会場にいる他の生徒に実況されました。全員の熱演を全員が確認。イノベーション教育のプログラムを受けて、新たな発見・学びがあり、生徒会活動や将来に生かすことができそうだと振り返っていました。